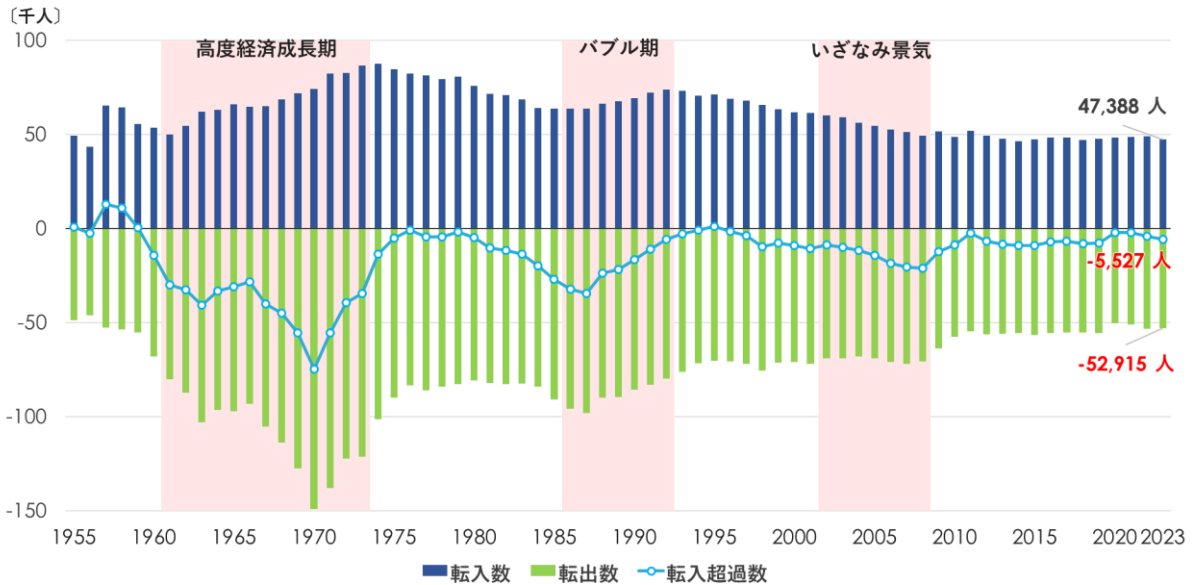


3 社会増減

(1) 転入数・転出数

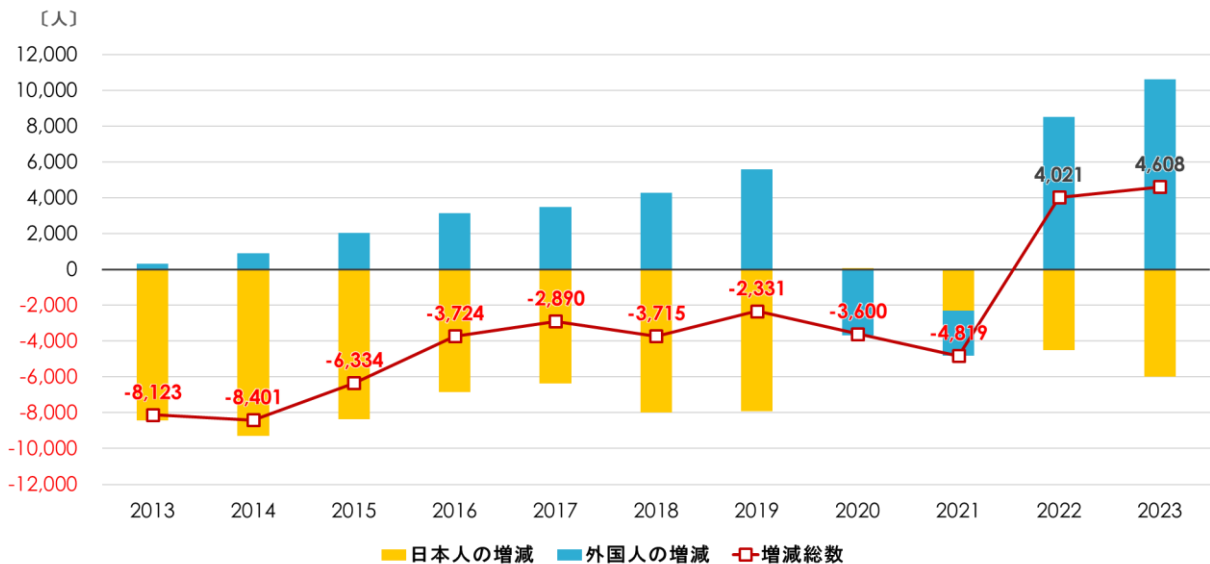
本道では、半世紀にわたり転出超過が続いており、特に、好景気の時期には、道外への転出超過数が大きくなっている。

転入数・転出数・転入超過数の推移（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

日本人・外国人の社会増減の推移（北海道）

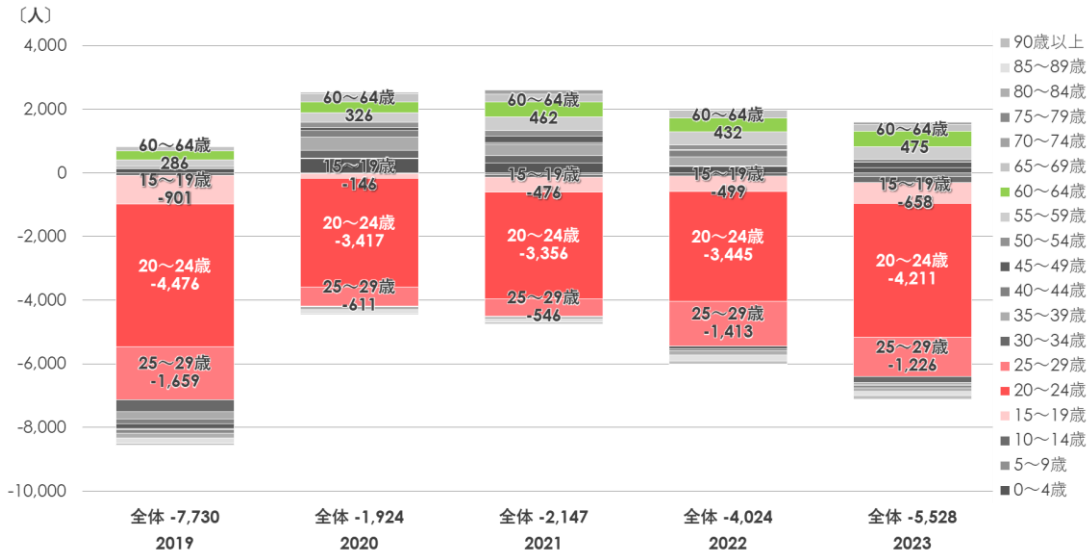


総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

(2) 年齢階級別・地域ブロック別の人口移動

2019（令和元）年に比べると、2020（令和2）年以降はコロナ禍の影響により転出が抑制、転入が増加する傾向にあったが、近年はコロナ禍前の状態に戻りつつある。年齢階級別の人口移動の状況をみると、60～64歳は転入超過であるのに対し、若年層は転出超過の傾向にある。特に、転出超過数に占める割合は15～29歳の若年層で高くなっており、大学等への進学や就職などのため、道外に転出する者が多いことが主な理由であると推測される。

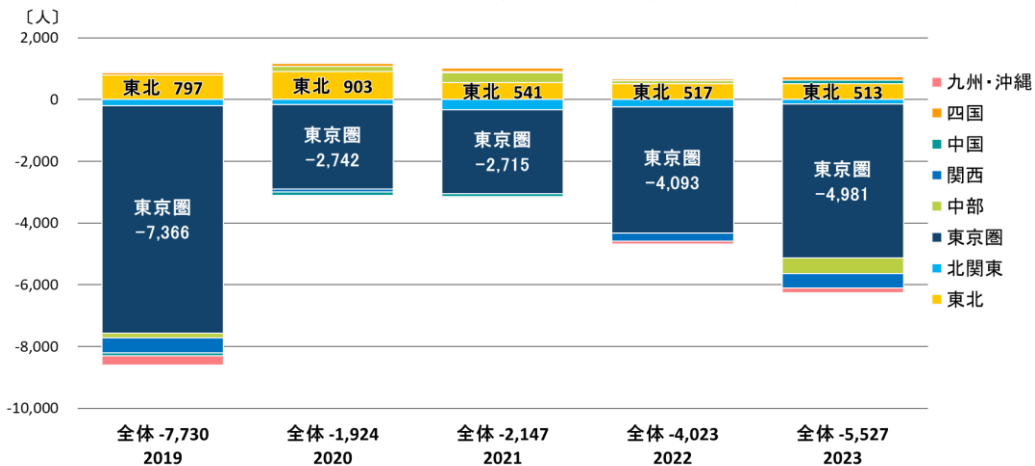
年齢階層別の人口移動（転入－転出）の状況（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

地域別では、東北から転入超過となっているが、ほとんどの地域に対して転出超過となっており、なかでも東京圏※2への転出が多くを占めている。

地域ブロック別の人口移動（転入－転出）の状況（北海道）



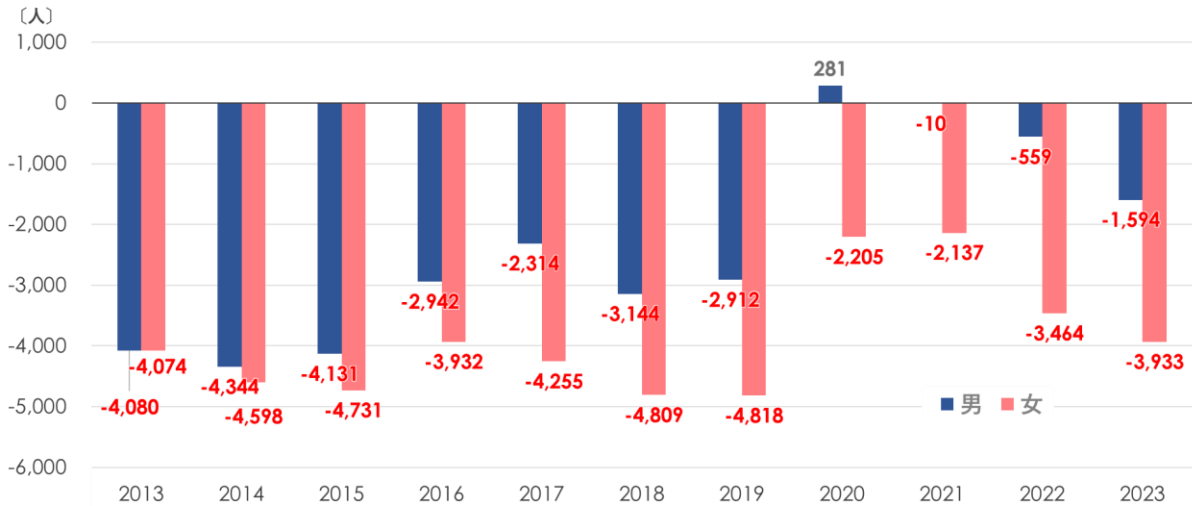
総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

※2 東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

(3) 男女別の人口移動

男女別では、2014（平成26）年以降は女性の転出超過数が男性の転出超過数を上回る傾向となっており、コロナ禍を機にその数は抑制されたものの、近年では男女ともに転出超過傾向が強まっている。

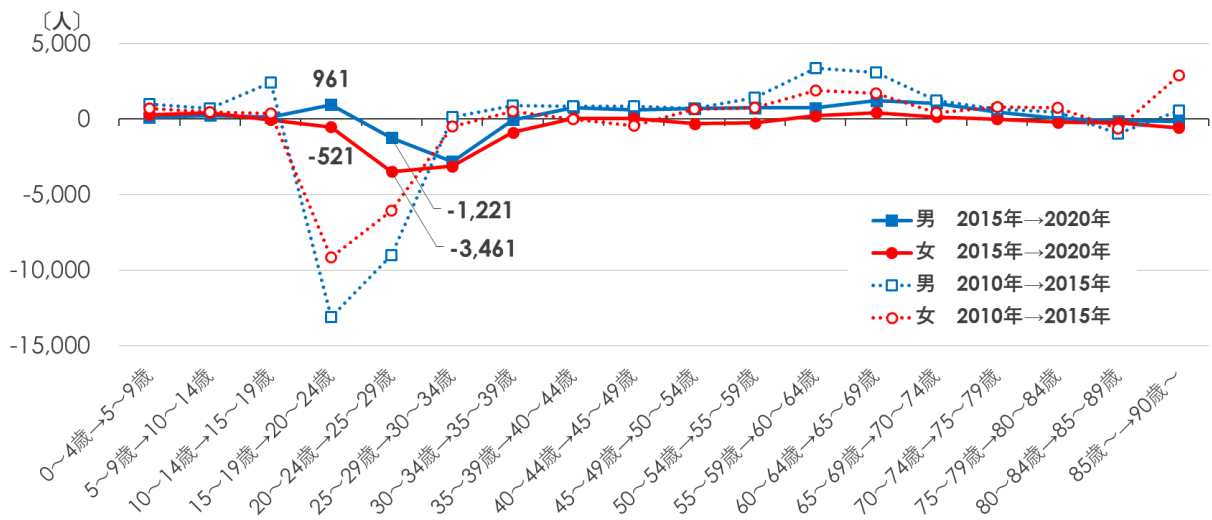
男女別人口移動（転入－転出）の推移（北海道）



総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

男女別年齢階級別の人口移動を見ると、2015→2020年では「20～24歳→25～29歳」の世代で女性の転出超過数が男性の転出超過数に比べて多く、進学・就職によるものと考えられる転出は女性が多いことがわかる。

性別・年齢階級別の人口移動（転入－転出）（北海道）

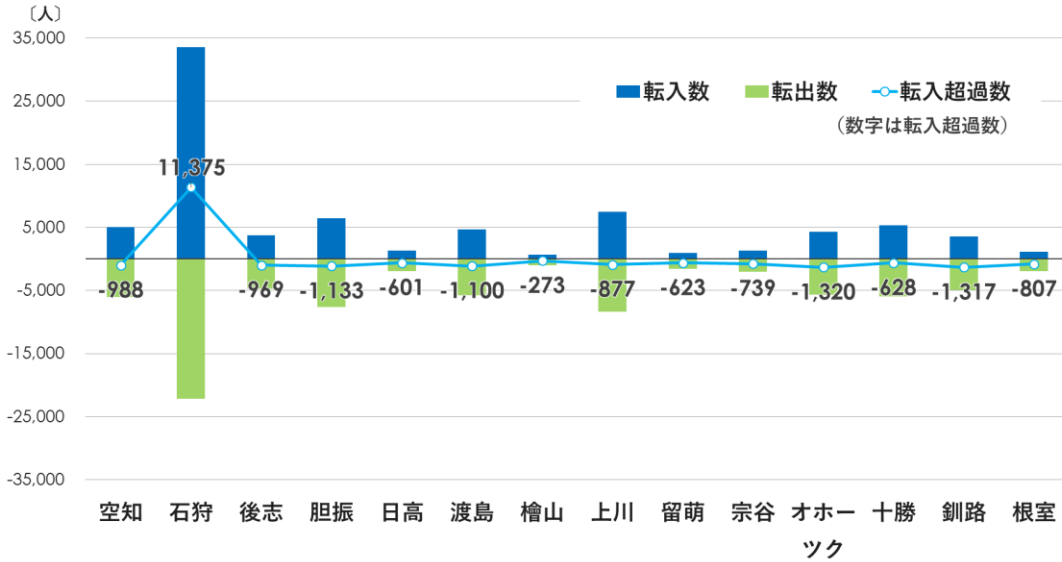


総務省「国勢調査」

(4) 振興局別の人口移動

2023（令和5）年における振興局間の転出入状況は、札幌市を含む石狩振興局管内のみが転入超過である一方、その他の管内はすべて転出超過となっており、札幌圏への人口集中が進んでいる。

振興局別の道内人口移動（転入―転出）の状況（2023年1～12月）

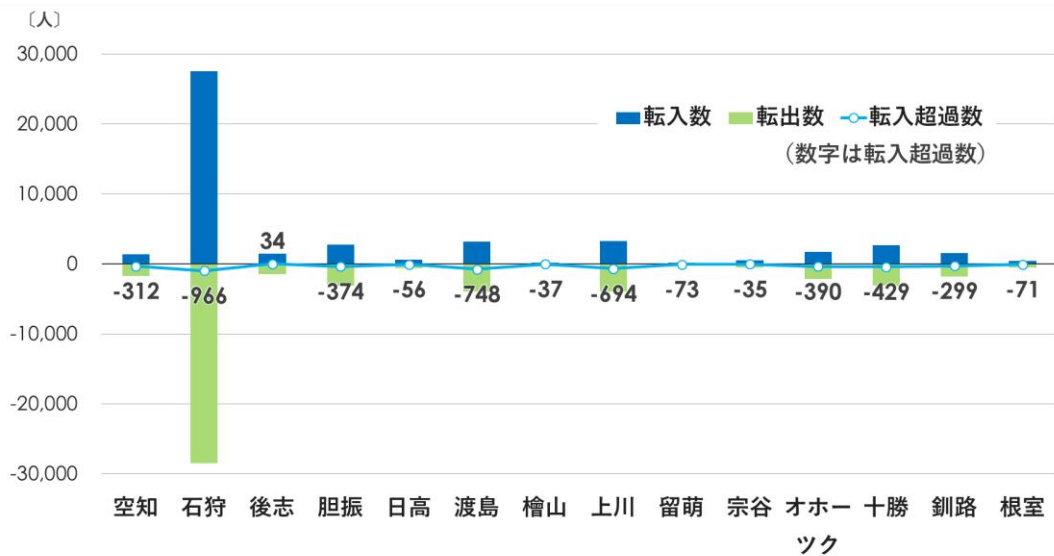


北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

2023（令和5）年における道外への転出入状況を振興局別にみると、後志を除く全ての振興局で転出超過となっているが、石狩振興局以外の転出超過数は、対道内の転出超過数より少ない。

道内の転出入は、地域から札幌圏へ人が集まる一方で、札幌圏から道外へ転出する傾向があることがうかがえる。

振興局別の道外人口移動（転入―転出）の状況（2023年1～12月）



北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」（日本人のみ）

振興局別の人口移動（転入－転出）の状況（2023年1～12月）

〔人〕

空知 [人口 270,282]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-988 (-0.4%)		転入－転出		-312 (-0.1%)		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,865	石狩	3,949	東京都	242	東京都	367			
2	上川	639	上川	669	神奈川県	195	神奈川県	194			
3	胆振	281	胆振	329	埼玉県	122	千葉県	122			
									合計	-1,300	

石狩 [人口 2,360,997]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		11,375 (0.5%)		転入－転出		-966 (-0.04%)		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	胆振	5,155	上川	3,465	東京都	6,544	東京都	8,431			
2	上川	4,880	胆振	3,413	神奈川県	3,058	神奈川県	3,095			
3	空知	3,949	空知	2,865	埼玉県	2,115	千葉県	2,125			
									合計	10,409	

後志 [人口 190,620]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-969 (-0.5%)		転入－転出		34 (0.02%)		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,235	石狩	3,349	東京都	292	東京都	299			
2	胆振	282	胆振	317	神奈川県	169	神奈川県	162			
3	上川	228	上川	216	千葉県	106	埼玉県	109			
									合計	-935	

胆振 [人口 370,533]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-1,133 (-0.3%)		転入－転出		-374 (-0.1%)		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	3,413	石狩	5,155	東京都	447	東京都	619			
2	渡島	481	渡島	436	神奈川県	287	神奈川県	324			
3	日高	452	上川	396	千葉県	195	千葉県	255			
									合計	-1,507	

日高 [人口 60,689]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-601 (-1.0%)		転入－転出		-56 (-0.09%)		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	589	石狩	956	東京都	93	東京都	98			
2	胆振	236	胆振	452	神奈川県	50	神奈川県	58			
3	十勝	115	十勝	98	千葉県	42	千葉県	51			
									合計	-657	

渡島 [人口 369,071]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-1,100 (-0.3%)		転入－転出		-748 (-0.2%)		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	2,495	石狩	3,805	東京都	588	東京都	924			
2	胆振	436	胆振	481	青森県	374	神奈川県	458			
3	檜山	375	上川	247	神奈川県	337	青森県	306			
									合計	-1,848	

檜山 [人口 32,242]	順位	道内				道外				転出入の差	
		転入－転出		-273 (-0.8%)		転入－転出		-37 (-0.1%)		道内	道外
		転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計	転入計	転出計		
1	石狩	233	渡島	375	埼玉県	34	東京都	40			
2	渡島	232	石狩	317	神奈川県	17	神奈川県	33			
3	胆振	43	胆振	65	埼玉県	15	千葉県	20			
									合計	-310	

(人)

上川 [人口 469,417]	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		-877 (-0.2%)		転入－転出		-694 (-0.1%)		
		転入計	7,467	転出計	8,344	転入計	3,287	転出計	3,981	
1	石 狩	3,465	石 狩	4,880	東 京 都	653	東 京 都	906	道内	-877
2	オホーツク	781	空 知	639	神奈川 県	364	神奈川 県	392	道外	-694
3	空 知	669	オホーツク	637	埼 玉 県	255	埼 玉 県	307	合計	-1,571

留 萌 [人口 40,920]	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		-623 (-1.5%)		転入－転出		-73 (-0.2%)		
		転入計	946	転出計	1,569	転入計	168	転出計	241	
1	石 狩	371	石 狩	739	東 京 都	31	東 京 都	42	道内	-623
2	上 川	185	上 川	304	神奈川 県	16	神奈川 県	24	道外	-73
3	空 知	78	空 知	131	埼 玉 県	14	千 葉 県	15	合計	-696

宗 谷 [人口 58,069]	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		-739 (-1.3%)		転入－転出		-35 (-0.06%)		
		転入計	1,329	転出計	2,068	転入計	472	転出計	507	
1	石 狩	517	石 狩	966	東 京 都	62	東 京 都	83	道内	-739
2	上 川	269	上 川	465	埼 玉 県	50	神奈川 県	44	道外	-35
3	オホーツク	110	オホーツク	117	神奈川 県	35	千 葉 県	38	合計	-774

オホーツク [人口 262,611]	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		-1,320 (-0.5%)		転入－転出		-390 (-0.1%)		
		転入計	4,302	転出計	5,622	転入計	1,729	転出計	2,119	
1	石 狩	1,807	石 狩	2,862	東 京 都	343	東 京 都	459	道内	-1,320
2	上 川	637	上 川	781	神奈川 県	182	神奈川 県	228	道外	-390
3	十 勝	530	十 勝	522	埼 玉 県	120	千 葉 県	156	合計	-1,710

十 勝 [人口 326,007]	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		-628 (-0.2%)		転入－転出		-429 (-0.1%)		
		転入計	5,294	転出計	5,922	転入計	2,702	転出計	3,131	
1	石 狩	2,356	石 狩	3,192	東 京 都	475	東 京 都	658	道内	-628
2	釧 路	681	オホーツク	530	神奈川 県	270	神奈川 県	307	道外	-429
3	オホーツク	522	釧 路	479	埼 玉 県	186	千 葉 県	251	合計	-1,057

釧 路 [人口 215,346]	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		-1,317 (-0.6%)		転入－転出		-299 (-0.1%)		
		転入計	3,558	転出計	4,875	転入計	1,526	転出計	1,825	
1	石 狩	1,426	石 狩	2,494	東 京 都	242	東 京 都	391	道内	-1,317
2	十 勝	479	十 勝	681	神奈川 県	143	神奈川 県	206	道外	-299
3	根 室	429	オホーツク	407	埼 玉 県	120	千 葉 県	144	合計	-1,616

根 室 [人口 68,899]	順位	道内				道外				転出入の差
		転入－転出		-807 (-1.2%)		転入－転出		-71 (-0.1%)		
		転入計	1,151	転出計	1,958	転入計	441	転出計	512	
1	石 狩	388	石 狩	871	東 京 都	64	東 京 都	108	道内	-807
2	釧 路	275	釧 路	429	神奈川 県	47	神奈川 県	42	道外	-71
3	十 勝	127	十 勝	149	埼 玉 県	44	埼 玉 県	48	合計	-878

転入・転出数：北海道総合政策部「住民基本台帳人口移動報告」(日本人のみ)
 人口：北海道総合政策部「住民基本台帳人口・世帯数(2023年1月1日現在)」(日本人のみ)
 ()内は管内人口に対する割合

(5) 社会増加率が高い市町村の特徴

道内において社会増加率の高い市町村について、直近2年間分を調査すると、市町村により、その理由は様々なものが考えられるが、以下の要因があることが推測される。

社会増加率が高い市町村（道内上位10市町村）

2023年（社会増加46市町村）

順位	市町村名	人口 (2024.1.1) (人)	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)
	北海道	5,093,983	4,608	0.09
1	赤井川村	1,353	256	23.15
2	占冠村	1,591	207	14.85
3	留寿都村	2,036	162	8.59
4	ニセコ町	5,481	413	8.12
5	倶知安町	16,505	925	5.92
6	南幌町	7,785	314	4.16
7	壮瞥町	2,391	72	3.05
8	蘭越町	4,496	69	1.54
9	安平町	7,311	91	1.24
10	新得町	5,531	67	1.20

2022年（社会増加49市町村）

順位	市町村名	人口 (2023.1.1) (人)	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)
	北海道	5,139,913	4,021	0.08
1	占冠村	1,394	172	14.00
2	倶知安町	15,636	902	6.10
3	ニセコ町	5,088	170	3.44
4	東川町	8,601	283	3.37
5	南幌町	7,546	233	3.16
6	西興部村	1,030	20	1.94
7	大樹町	5,439	66	1.22
8	猿払村	2,637	28	1.07
9	鶴居村	2,485	25	1.01
10	仁木町	3,128	28	0.88

総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」
(外国人含む)

【社会増加率が高い理由】（上記市町村からの聴き取りによる）

- ・観光業・宿泊業の雇用増加による外国人を含む従業者の転入
- ・外国人技能実習生等の転入
- ・移住促進・子育て支援による子育て世帯等の転入
- ・宅地造成・分譲による周辺地域からの転入
- ・その他（企業誘致による従業者の転入、近隣市町村で従事する外国人労働者の居住のための転入、農業振興施策による新規就農者の転入など）

※ 外国人の人口動向については P26 以降参照